



つくる、つくろう通信

陣内やすこ 八王子市議会議員・無所属

会員募集中

編集：陣内やすこと明日の八王子をつくる会／発行：市民自治の会

〒192-0912 東京都八王子市絹ヶ丘2-11-7 TEL 042-636-8158 FAX 042-636-8640

E-mail jinnaiya@mbk.nifty.com URL http://homepage3.nifty.com/jinnaiya/



2006年度予算 決まる!!

(一般会計1,596億円、前年比54億円アップ)

市政への要望(市民世論調査より)

- 1位 防犯対策
- 2位 高齢者福祉
- 3位 保健医療
- 4位 少子化対策・子育て支援
- 5位 不法投棄・放置対策
- 6位 財政再建
- 7位 学校教育
- 8位 緑の保全
-
- 24位 都市整備(再開発・区画整理)

やすこの要望

新市民会館・
三二市役所の見直し
駅前広場の
整備を!

監視社会をつくり
ださないように。
犯罪を誘発しない
安全な場所点検。

ボランティアに
できること、しては
いけないことを
明確に。

男性の働き方を
変えよう。

教育に必要なのは
マンパワー。

2006年度予算の重点項目

1. 都市の再生

- 南口再開発事業(市の負担総額約112億円)
- 道の駅整備
- 高尾駅南北自由通路など

2. 安全・安心の暮らしの確保

- 安全パトロール
- 防犯情報メール配信
- 全小学校オートロック など

3. 子育て子育て支援

- 学童保育所の整備
- 児童館の拡充
- 家庭福祉員の増員 など

4. 教育環境の充実

- 小・中学校の新設・増改築
- 市費総括指導主事の配置
- 登校支援センターの新設 など

市民ニーズの高い高齢者福祉に対して配慮されていない予算といえる。介護保険の改正により、保険料がアップ。また、市税収入の34億円増のうち、27億円あまりが税制改正によるもの。景気が回復しつつあるといっても、依然厳しい市民生活となっている。市民生活の現実を認識し、必要な施策を実施するのが地方自治体の役割。112億円もの市の税金が投入されようとする再開発事業(市民会館建設、地域事務所設置を含む)が、今やるべき重要課題なのか、改めて問う。しかも、その決定過程においては、市民不在。情報公開が十分に行われていない。再開発ビルの5階に設置されようとしている地域事務所についても、地域サービスのあり方検討がこれから始まろうとしているにもかかわらず、先行決定である。しかも、必要面積についても、十分な精査が行われないうちで、5階部分全部の取得を決めている。教育へのマンパワーの充実がなかなか進まない。誰もが地域の学校へ通えるための人的配置、学校図書活用への人的配置、少人数学級への要望(特に1年生)など教育現場が抱える課題への対応が求められている。中学校給食を検討から実施段階へ進めよう。

2006年第1回定例議会開催される(2月28日~3月29日)

質議より



国民保護計画って知っていますか？

戦争状態を想定して、その場合の住民の避難・救援等の計画です。しかし戦争状態を想定する場合、どこから、敵が攻めてくるのか、それがないところでの計画は無意味でしょうし、そのような仮想敵国を想定すること自体、緊張関係を自ら作り出すようなものです。

戦争は、外交の失敗です。戦争にならないように最大限の努力をする、それ以外に住民を守る方法はないとおもいます。

しかも、この狭い日本で、東京都民1200万人、また、八王子市民でいえば、54万人をどうやって、他の地域に移動させることができるのでしょうか。

いつまでという定めのない国民保護計画を策定するためには、国民保護協議会を設置しなければならないのですが、今議会でその設置条例が通ってしまいました。

協議会委員に、自衛隊の参加を求めたいとの市長答弁がありました。住民の安全のためには、戦闘部隊である自衛隊との接触を避けることが重要です。

誰のための国民保護計画なのか？ 目的は？ そしてその実効性は？

今後の市民的議論と、戦争をしない国にするためにしなければならないことを検討すべきです。憲法9条をしっかりと生活レベルでとらえなおそう。

武力攻撃事態

- ① 着上陸侵攻 (=海や空からの地上部隊の侵攻)
- ② ゲリラや特殊部隊による攻撃
- ③ 弾道ミサイル攻撃
- ④ 航空攻撃 (=空襲)

緊急対処事態

- ⑤ 原子力発電所等施設への攻撃
- ⑥ 集合施設等への攻撃
- ⑦ 化学物質等による攻撃
- ⑧ 自爆テロ



憲法9条バッチ
(市民意見広告運動事務局提供)
「みんなの居場所」でとり扱っています。



市税の徴収から見える格差社会

OECD (国際経済機構) が世界の貧困率 (注1) を発表しました。日本の貧困率は15.3%で、先進国のなかでアメリカについて2番目です。10年前の統計では8.4%だったのが、急速に格差が広がってきています。

(注1) 貧困率とは、所得の中央値の半分以下の所得で生活している人の比率。日本の中央値は2002年で476万円だから、238万円以下の所得の人が15.3%いることになる。

当初所得での貧困率では、フランス、ドイツ、ベルギー、デンマークのほうが高い。しかし、所得の再配分の結果が表のとおりです。つまり、デンマークなどは、市場での所得は日本より格差があるが、再分配によって格差がかなり縮小しているということです。政治の役割である所得再配分が、日本ではいかにその役割を果たしていないかがわかります。

八王子の場合も、市税収入が上がってきているということですが、10%課税層の増によるものとのことでした。しかも34億円の増収分のうち、27億円が税制改正の影響によるものです。

その原因のひとつとして、非正規労働者の増加があります。

総務省統計局「労働力調査」(04年)によれば、非正規労働者は31.5%。正社員とパートの時給の差は、男性で正社員約2000円に対してパート約1000円、女性で正社員約1400円にたいしてパート900円ということです。若者の失業率が高いことは知られていますが、15歳から24歳の失業率(05年10月)は、男性9.4%、女性7.7%です。ちなみに、有効求人数に占める非正社員の比率は56.7%と、半分以上が非正規労働者としての募集です。

しかも、東京都の最低賃金は時給714円。8時間労働で、月20日、1年間働いても137万円にしかなりません。生活できる賃金の保障が必要です。

そのひとつとして自治体と契約する企業の労働者に対する生活賃金スタンダードをつくるための制度が必要です。指定管理者制度の導入で、非正規労働者の増大を押しすすめるようなことがあってはなりません。効率優先社会が行くつく先は……。

世界の貧困率

メキシコ	20.3%
アメリカ	17.0%
トルコ	15.9%
アイルランド	15.4%
日本	15.3%
.....	
イタリア	12.0%
スペイン	11.5%
イギリス	11.4%
カナダ	10.3%
ドイツ	10.0%
ポーランド	8.2%
フランス	7.0%
オランダ	6.0%
チェコ	4.4%
デンマーク	4.3%

陣内やすこの収支報告

2005年度4月から3月	収入	支出
議員報酬(1月~12月)	10,230,600	
社会保険料		2,128,920
税金等		678,400
明日の八王子をつくる会へ		1,500,000
通信作成		500,000
団体会費		161,000
交通費・駐車場代		300,000
通信費		950,000
文具代等		230,280
活動雑費		350,000
資料代		300,000
HP・メルマガその他情報発信		150,000
FAX/携帯/インターネット等		300,000
生活費		2,682,280

* 4月から政務調査費に領収書添付が条例化されました。

(基金・供託にしているもの)

議員報酬期末手当アップ分	29,000円
郷土資料館運営委員報酬	24,000円
住宅・都市整備公社評議員報酬	40,000円
ふれあい財団評議員報酬	16,000円
今までの累積	64,000円
合計	173,000円

いってきました

みてきました

聞いてきました

あなたも聴き上手になりませんか

野崎 和子

傾聴ボランティアという言葉を知っていますか。話を聴いてほしい人のところに行き、じっくり話を聴くボランティアです。「なんだ、簡単じゃないか」と思うかもしれませんが、「人の話を聴くのは意外に難しい」と鈴木絹英ホールファミリーケア協会理事長は言います。なぜなら、誰でも聴くより話すほうが好きで、自分に興味のない話は聴かないし、聴いても自分に都合のよいように聴いてしまいがちだからです。しかし、人は話を聴いてもらうと、自分を受け止めてもらえた、気持ちをわかってくれたと感じ、生きる元気が出ます。笑顔で相手の目を見て、大きくうなずきながら聴くと、相手はもっと話したくなります。つい、アドバイスや自分の考えを話したくなりますが、あくまで相手が主人公で、その気持ちを聴き、ありのままを受け入れることが大事です。傾聴は、親子、夫婦、他人との間のコミュニケーションを深める方法としても優れていると思います。

このように相手の話を傾聴するには、少し訓練が必要です。ホールファミリーケア協会(03-5297-7108)では、傾聴ボランティア養成講座を開いています。「自分が持っている力と時間の余裕を、なにか社会のために役立てたいという気持ちはあるがなにをしてよいかわからない」という人や興味を持った人、傾聴ボランティアにトライしてみませんか。

(詳細を知りたい人は野崎まで 042-636-8158 みんなの居場所)



習志野市立秋津小学校訪問記

ペンネーム：さくら草

先日、習志野市にある秋津小学校を訪れる機会を持った。秋津小学校は地域に開かれた地域と一体の小学校として新しい取り組みをしている学校である。小学校の空き教室一階を丸々地域に開放し、朝の9時から夜の9時まで街の人々が自由に出入りし利用し活動をしている。校庭の裏庭は“うらの畑”なる畑として地域の人々が作物を育てていた。その隣には素晴らしいビオトープがあり、それも地域の人々がみんなで作った。かずさ堀で掘ったという立派な井戸もある。そこには、旧態以前とした学校の捉え方とは明らかに異なる考え方が見て取れる。地域つまり街の一部としての学校である。学校がみんなのものとして認識された時、街の人々は学校にやって来て学校の為に活動もする。それは自ずと、次代を担う可愛い街の子ども達の為なのである。創立当初約1200人いた児童は現在は約350人。少子化は秋津小と同様である。物ではない！ 地域の暖かな人の手がこのような素敵な小学校を生み、街中みんなを幸福にしている。

宅老所「かあさんの家」に行ってきました

鈴木 道子



2月26日の日曜日、一日中冷たい雨が降り続く中、陣内さんの車で、東大和市にある宅老所「かあさんの家」の見学に行ってきました。

私は長年、夫を介護してきたのでよくわかったのですが、随

所に入所者や介護する人にとって過ごしやすい工夫がされていると感心しました。まずその広さです。「かあさんの家」は北側に屋敷林、南と西に畑がある普通の家を改造したもので、家の周りが広く、入所者が飛び出しても交通事故などに遭う危険性が少ないのです。二つの座敷をぶち抜いてダイニングとして使い、風呂は一般家庭と同じサイズの総ヒノキ造りで、広い浴室の中央にあり、介助しやすくなっていました。

夫の介護体験から言うと、大規模な施設は親しみにくくあまり行きたがりません。ここは「普通の家でいいなあ」と思いました。また、日曜日にも開いていると聞き、そういう施設は少ないので、家族にとってうれしいことです。

住み慣れた土地で、最後まで当たり前に暮らせるような施設やシステムがほしいとせつに思いました。

やすこの活動日誌

- 1月1日 元旦
- 11日 会派代表者会議
- 12日 「シネマとフェミニズム研究会」合評会
- 13日 教育長へ署名提出「高嶺小への心障学級設置要望」
ふれあいトーク
- 14日 新年会
- 15日 高尾自然科学博物館を考える会 シンポジウム
- 16日 行政改革推進審議会傍聴
「八王子手をつなぐ女性の会」運営委員会
- 18日～19日 三多摩議員ネット合宿
- 24日 夜間中学校作品展
- 26日 2006年度予算会派説明会
「容り法」改正に向けての院内集会
- 27日 西多摩まちづくり研究会
なんでも相談
- 28日 カフェミーティング
知って得する、働く権利ABC（講師：中野麻美弁護士）
- 29日 多摩とことん討論会
- 30日 全国フェミニスト議員連盟学習会
- 31日 まま家
- 2月1日 少子高齢化特別委員会
- 3日 自治体学校
コントニュースペーパー八王子公演
- 4日 女性労働と均等法（講師：中野麻美弁護士）
- 5日 虹と緑の500人リスト政策研究会
格差社会について（講師：橋木京大教授）
- 9日 少子高齢化特別委員会
- 10日 交通バリアフリー研究会
- 12日 ごみ・環境ビジョン21 市民大学
ごみ焼却所とぜんそくプロジェクト
- 13日 八王子城址と御大殿の滝視察
八王子市住宅・都市整備公社評議員会
- 14日 東京都市議会議員研修会
介護保険出前講座
- 15日 総務企画委員会
国の女性関連予算を読む（主催：市川房枝記念会）
- 16日 文教経済委員会
八王子平和連絡会学習会
- 17日 なんでも相談
- 18日 チャイルドライン公開講演会（講師：坪井節子弁護士）
- 19日 市民企画事業補助金公開プレゼンテーション
- 20日 まま家
教育長要望書申し入れ（御大殿の滝涸れについて）①
- 21日 全員協議会
- 22日 図書館協議会傍聴
- 24日 議会運営委員会
- 25日 国民保護計画学習会
- 26日 「かあさんの家」訪問
「このゆびとーまれ」 惣万佳代子さん講演会
- 28日 第1回定例会本会議
- 3月1日 総務企画委員会
- 2日 都市建設委員会傍聴
- 4日 市民参加の仕組みづくり検討会傍聴
市民立学校をつくる シンポジウム
- 5日 林野火災防災訓練
- 6日 本会議
高尾の里検討会議傍聴
- 7日 本会議
- 8日 シネマとフェミニズム研究会合評会「Dear フランキー」
- 9日 予算特別委員会総括質疑
- 10日 予算特別委員会総括質疑
- 13日 予算特別委員会総括質疑（1番目 陣内）
- 14日 総務企画分科会
- 15日 総務企画分科会
総務企画委員会
- 16日 文教経済分科会
- 17日 文教経済分科会
文教経済委員会
- 18日 市民活動協議会NPO取得祝賀会
「わたしのまちの憲法9条」シンポ
アクターズスクール公演「夢見の空き地ー大地の象ー」
- 19日 予算特別委員会
- 23日 八王子市都市・住宅整備公社評議員会
- 24日 なんでも相談
- 25日 フットサルコートオープン
片倉駅バリアフリー整備工事終了・共用開始
炭焼きコンサート
- 26日 本会議
- 27日 本会議
- 28日 一般質問
- 29日 一般質問
- 30日 郷土資料館運営委員会
- 31日 まま家



三多摩議員ネットの合宿で「夕焼け小焼けの里」に行ってきました。国保加入者は1回2000円の補助があります。いいところです。これからの季節、ぜひお出かけください。



バイオマストイレ



議案文書要	
議案番号	八王子城址の史跡保存についての議案 （平成18年2月23日受理）
提案者	八王子市平野中王2-11-6 酒 國 男 共11名
紹介議員	川村 美恵子 陣内 泰子 山崎 和男 村上 龍子
議題趣旨	平成16年度までに策定された「八王子城址保存管理計画」によって、八王子城址は学習、観光等の施設として活用が図られることとなり、今後の「支那人王子城址整備基本計画」の策定に大変期待しております。 ところが、昨年5月の「御大殿の滝」の水が枯れ、現在までに滝の水が完全に干涸びる現象が頻発しています。このような現象は今までに見られなかったものであり、このままの事態が続くと国史跡が損なわれることとなります。 八王子市においては、この「御大殿の滝」の水枯れについて対策を施す上で、水枯れ原因の徹底的な調査をするよう文化庁に申し入れ、一昨年も「御大殿の滝」が昨年5月以前の状態を回復させるよう国史跡の復元措置を求めました。
議題事項	1. 「御大殿の滝」の水枯れ現象を八王子城址の景観を把握すること 2. 「御大殿の滝」が八王子城址で起きている現象の歴史的背景を明らかにすること 3. 「御大殿の滝」が八王子城址の景観回復を促すこと

インフォメーション

4/15～
6/11

ケーテ・コルヴィッツ展

— 平和な世界へ祈りをこめて —

「ドイツの良心」と呼ばれる、ケーテ・コルヴィッツの版画・素描・彫刻展が開かれます。ぜひこの機会に見学にお出かけになりませんか。「戦争」をテーマにした版画が出品されています。

場所 町田市国際版画美術館にて開催

5/12

居場所カレッジ 第9回

定率減税の廃止や高齢者の非課税措置の廃止、また、2007年度から地方税と所得税の割合も変わってきます。確定申告をして、去年よりずいぶん税金が高くなったと感じている方も多いこととおもいます。そこで、税制改正の出前講座を開催します。何がどう変わるのか、私たちの市民生活への影響は？そして、それらの税金が何に使われているのか、厳しくチェックしていきましょう。

- 日時：5月12日(木) 14時から16時
- 場所：みんなの居場所 (042-636-8158)

議会報告会(カフェミーティング)

3月議会の報告

●2006年度予算についてなど

- 4月22日(土)10時から12時
南大沢市民センター和室
- 4月27日(木)18時から20時
カフェケン(042-656-2044)

